

もあり縣の豫算に當はぬ  
果して之を是認されるか  
うか又五年度の課率一圓  
對する三錢一厘五毛餘の  
きも動きあるらしく第二  
委員會は本田稅務

五五、坪敷一八六八  
買賣價格二五四五〇四  
圓、賃貸價格七八二八  
五圓（一構當貨格二  
一圓八五錢、棟當同二  
八圓四二錢、坪當同六  
五九錢）以上

六氣時代一品數百圓を投じ  
八様なことは薬にしたくも  
い町内三百餘の出生児と  
六圓は總計四五千圓に過  
まいと唱ひられてゐる  
在を合せた六七百の初節  
三の中精々三分一位の  
圓

装飾で近親から  
られるものゝ一戸當り新  
購入五、六個と見る平均  
夫婦は總計四五千圓に過  
まいと唱ひられてゐる  
老いた夫婦が  
共に首縊  
夫は失業し

妻は精神病

妻は精神病

妻きぬ(母)と判明したが  
忠四郎は老衰の故を以て  
本林中に老ひたる男女の死體あるを通行人が發見け出たので平署より係官  
出張検死の結果右の者は  
村字椎木平二五元小田巻  
萩原坑々夫竹田忠四郎(母)  
前より病氣に罹り治ら  
忠四郎は老衰の故を以て  
最近歎首されきぬは確  
たため老の身の行末を安  
て去る十日朝忠四郎はさ  
くを伴つて家出したため行  
ふので隨分打算的な理窟  
も此去來も芭蕉十哲の  
と呼ばれて元祿俳壇の長  
でありますかこんな句を  
んで居るのでありますか  
本  
かん  
た處  
景

五四五石(税額四八一四四石(三三四九圓)で一八右。一五六六圓の激減をし本年は更に生産減をあらうと云はれてゐる。不況挽回に大わらべ平驛が海水浴期の準備減収過ぎの鐵道當局では七月の旅行季節に開體制その他の優待方法を講じるもの客の吸收に大童の體であるが平驛では梅雨が晴れるまた灼けつくやうな夏の海水浴期に於けるので今年こそは年來の成績を取戻すべく意氣込んで早くも迎夏の計畫を立て内々研究中であるが、一端として從來は半四回に限られてゐた夏季の一端として、従来は半四回より毎日曜毎に八月十六日より毎日運轉し浴客の宜を計る豫定であると臨時列車運轉

一時借入の鐵管購入費に於ける半町水道擴張工事部では、九日の急施町會に於ては、管購入その他に要する借入金の承認を得てゐる。右に關し今十三日午後一時から左記會計委員會を開き、收支關係を調查の上該款萬餘圓を町内銀行から供給を決して散會した。

▲委員青沼鋒太郎、吉寅之助、關内庄一、佐岩次郎、佐々木龍若

◆公金預金來る十八日開係委員の協議に入石城郡の各町村並に各種の不體に於て今回いよ／＼破立と申込立てに決した磐城銀行にナカ餘闇の公金を有し此の同に腐心してゐたことは余程の如くであるが畢竟に至ては破産に關して遺漏があることを期すべく来る十八日午後十時半町會議室に左記會を開き打合せを逐ぐことになつた。

▲半町、小名濱、泉郷、神谷、大野の各町教育部會、農間漁業組合、平窪貯金組合、納稅組合(以上)

## 稻の植え方

播秧に就て

卷之三

今定規を用いて正條種となれば定規に支配せらるゝため植人の功拙如何に拘らず其能率が平均的に制限せられ普通一入一日平均的僅かに本田七畝歩か八畝歩に過ぎない

郡内卅三ヶ町村の嘱託により  
六月一日より輕費診療開始す  
内科、小兒科、外科、性病科  
皮膚科、產婦人科、物理療  
科、耳鼻喉嚨科、X光線科  
輕費診療 五十一錢

婦會看護平看護婦會

りぎりと色傘日と傘雨空の月六い近雨  
傘日とルソラバ \_\_\_\_\_ 傘雨す必はに外出  
傘白用生學女 やルツ 上以圓壹

三派の末流  
に應じます

院 病 濟 共  
始開療診費輕

六月一日より輕費診療開始す	内科、小兒科、外科、性病科
△診療科目	皮膚科、産婦人科、物理療
△薬價(一 日 分)	科、耳鼻咽喉科、X光攝影
△入院料(分)	輕費診療 本會員 無 料 輕費診療 本會員 十五 錢
△入院料(一 日)	輕費診療 本會員 一圓以上

入院應需  
明雲堂眼科醫院  
平驛前(電話六六九番)  
◆自炊の便あり

そばから  
の枕は頭のには  
一番良いと申されて居ります

貢切は?

親しみあるサービスを

子タクシード  
電六四〇  
任筆者  
正

四

安

小學生用  
中學生用  
35銭より  
170銭より

モリタヤ洋品店

生ビールを召せ  
樽詰 生ビールを召せ  
カツブ一杯十五錢  
そして醉つた後に  
心地よい アイスクリー  
も御座います 一ヶ十五錢  
電話三五

平  
市  
原  
吁  
院  
醫  
院  
內  
外  
科  
兒  
科  
梅  
毒  
淋  
病  
電  
話  
五  
七  
番  
田  
明  
卷  
四  
一  
電  
告  
白

諸毒下之の大妙藥  
安流丸

本舖 責任製劑 水野藥局

<img alt="A vintage Japanese advertisement for Yamashita Kōzō Shōchikubai. The top right features a large banner with the text '本位の良品' (Good Product). Below it, a sword-like graphic points towards the center. The central text reads '御進物には商品切手' (For presentation, use a stamp). To the left, there's a logo with the text '山崎合名會社' (Yamazaki Gomakusha) and '正宗' (Masatoshi). Further left, the text '味噌醤油 鐵詰罐' (Miso Soy sauce in iron jar) is displayed above a smaller logo. At the bottom left, contact information is provided: '電話 製造部 一〇番 營業部 二七番' (Phone: Manufacturing Dept. 10, Sales Dept. 27).</div>